

県内有数のデータセンターを内包

機能性と快適性を 効率よく両立

保険医療機関から提出されるレセプト(診療報酬明細書)の審査支払い業務など、重要な個人情報を取り扱う機関である山形県国民健康保険団体連合会。その業務を安全かつスムーズに遂行するために設立した新事務所では、火を使わないヒートポンプによる空調システムが選択された。



経済性、メンテナンス性に優れた 「火を使わない」空調設備

国民健康保険団体連合会は、国保の保険者である市町村および国保組合が共同して、その目的達成のために設立した公法人である。現在、山形県国民健康保険団体連合会は、31市町村、1広域連合、3国民健康保険組合の計35保険者が会員となっており、各種事業を行っている。中心となるのは、保険医療機関などから提出されるレセプト（診療報酬明細書）の審査支払いに関する業務だ。

もともと同連合会は、山形市にある山形県自治会館内の一部を借りていたが、2008年に新しい事務所ビル「山形県国保会館」を寒河江市に建設。アルミパネルに覆われた4階建てで、2階には県内有数の規模を誇るデータセンターを設置した。

新たに国保会館を建設した理由は、2011年度から本格的に開始するレセプトのオンライン化に対応するためである。同連合会の事務局次長（兼）総務企画課長の両谷充氏は、「スペース的な問題だけでなく、館内のセキュリティ管理、サーバー室の空調管理といった点においても、従来の事務所

は対応が困難でした」と言う。

国保会館の新設により、重要な個人情報や管理する機関としてふさわしい設備が整った。各室でICカードによる入退出管理を行うほか、サーバー室のセキュリティゲート、虹彩認証など、厳重なセキュリティシステムを導入。また、火災対策として「火を使わない」空調設備、地震対策として免震床を導入した。

これに加え、設計には寒河江市という地域性も考慮。東北地方の盆地にあり、冬は積雪が多いため、雪荷重を想定して躯体強度を増したほか、屋上からの積雪落下防止のために笠木ヒーターを手摺り部分に設置した。

空調設備の選択にあたり、発注者の同連合会が出した条件は、「火を使わない」ことだった。「オンライン化をすすめるとはいえ、紙の書類もまだまだあります。火災などで、大事な文書が焼失するリスクを避けたかったのです」と、同連合会総務企画課主幹の柏谷正喜氏は語る。

左上・左中) 職員用の通用口にある空調管理パネル
左下) 審査委員会会場でも多数のパソコンを使用する
右) 細かな温湿度調整ができる快適なワークスペース



そこで採用されたのが、電気による空調システムだ。一般事務室用として、氷蓄熱式空調システム（エコ・アイス）のビル用マルチエアコンを計8台、大型コンピューターを備えるサーバー室用として、ヒートポンプ空調システムのパッケージエアコンを計5台設置した。また、給湯室の湯沸かしにも電気温水器を使うなど、徹底して火の使用を避けている。

このシステムのメリットは、安全性だけではない。建築設計を担当した株式会社秦・伊藤設計取締役設計部長の戸内進氏は、「経済性とメンテナンス性を第一に考えて設計しました」と振り返る。ポイラー室がなく、屋上に機器を集約できることによるスペースの節約や、専任管理者なしで運用できるメンテナンス性の高さ、ランニングコストの抑制も見逃せないメリットだ。さらには、将来起こりうる用途変更や機器の増設にも対応しやすいという。

「ポイラーがあると、ポンプや配管を設置することで、錆などの問題も出てきます。その点、この設備はメンテナンスがしやすいし、耐久性も高いですね」と、施工を担当した弘栄設備工業株式会社顧客管理本部部長の稲毛浩二氏も、このシステムの優位性を強調した。

節電機能を兼ね備えた ハイレベルな空調管理システム

もうひとつ重要なのが、データセンターの運用に求められる高い空調管理機能だ。サーバー室は、コンピュータを最適な環境で稼働させるために、温湿度を一定（温度24℃、湿度45%）に保つ必要がある。一般的な事務所ビルの空調設備よりもシビアな条件だが、今導入されたシステムは、これを問題なくクリアしているという。

同連合会総務企画課主幹の柏谷氏は「この空調設備は、事務室で働

く職員にとっても快適です。温度設定が簡単で、こまめに調整できるので、仕事中に寒かったり、暑かったりして困ることがなくなりました」と満足げに語る。

ちなみに同連合会では、職員が帰宅した後の夜間電力を効果的に利用しており、夜間蓄熱だけで就業時の空調をまかなえているという。また、職員の通用口には、館内の空調設備の使用状況を一覧できるパネルがあり、退館時に消し忘れを防げるようになっている。今後、継続的に節電を推進していくうえでも、頼りになるシステムだといえるだろう。



山形県国民健康保険団体連合会
総務企画課 主幹
柏谷 正喜 氏



山形県国民健康保険団体連合会
事務局次長（兼）総務企画課長
雨谷 充 氏



山形県国民健康保険団体連合会
常務理事
佐藤 友弘 氏



弘栄設備工業株式会社
顧客管理本部 本部長
稲毛 浩二 氏



株式会社秦・伊藤設計
取締役 設計部長
戸内 進 氏

山形県国民健康保険団体連合会

山形県内の31市町村、1広域連合（最上地区広域連合）、3国民健康保険組合（山形県医師国民健康保険組合、山形県歯科医師国民健康保険組合、山形県建設国民健康保険組合）の計35保険者が会員。レセプトのオンライン化に対応するため、2008年に寒河江市の新事務所「山形県国保会館」に移転した。



〒991-0041 山形県寒河江市大字寒河江字久保6
TEL:0237-87-8000 URL:http://www.ymgmt-kokuho.org



設備概要

- 水蓄熱式空調システム（エコ・アイス）
ビル用マルチエアコン×8台（673.4kW）
- ヒートポンプ空調システム
パッケージエアコン×5台（315kW）

山形県国民健康保険団体連合会の空調システム

